

**新しい仏教**

**背景** ①社会不安←内乱・外圧・飢饉 ②旧仏教の墮落(勢力は強大 <例>興福寺、)  
③武士・庶民の台頭 <例>各地に多数の板碑・五輪塔

**特徴** 簡単な行い(易行)を一つだけ選んで(選択)それに専念する(専修)

[A] 念仏系 … 1天台宗から(日本で)発展

① 2**法然** (源空) … 美作国の武士出身

” 3**専修念仏** ” (ひたすら念仏 = 「 4**南無阿弥陀仏** 」 を唱えることで救われる) ・ 5**他力本願** を主張  
→ 混乱・旧仏教からの批判 → 讃岐へ流罪・専修念仏禁止 [1207 : 承元の法難]

【主著】 『 6**選択本願念仏集** 』 【宗派】 7**浄土宗** [1175] 総本山 : 8**知恩院** (京都)

② 9**親鸞** … 貴族出身 法然の弟子 1207. 越後へ流罪 妻は恵信尼

・ 一度信心を起こして念仏すれば往生が決定する

・ 10**悪人正機** … 煩惱の深い人間こそが救われる ← 『 11**歎異抄** 』 (弟子 12**唯円** 著)

【主著】 『 13**教行信証** 』 【宗派】 14**浄土真宗** ( 15**一向宗** ) [1224] 総本山 : 16**本願寺** (京都)

③ 17**一遍** (智真) … 伊予国の豪族出身 仲間(時衆)とともに諸国を遍歴 → ” 遊行上人 ”

・ 信心の有無・善人悪人の別なく往生は決定 → 「南無阿弥陀仏」の札( 18**念仏札** )を配る

・ 神社信仰(伊勢・熊野など)の利用 19**踊念仏** (念仏踊)の普及 ※絵巻物 『 20**一遍上人絵伝** 』

【主著】 なし ( 『 21**一遍上人語録** 』 ) 【宗派】 22**時宗** [1274] 総本山 : 23**清浄光寺** (神奈川)

[B] 禅宗系 … 23**宋** から輸入 ” 24**自力本願** ”

① 25**荣西** … 備中の豪族出身 初めて 26**茶** を伝える ( 『 27**喫茶養生記** 』 )

・ 28**坐禅** を組んで 29**公案** (師から示される問題) を解決 → 悟り 30**公案重視**

・ 権力者に接近 → 幕府の保護 ・ 密教の祈とうにも優れる

【主著】 『 31**興禅護国論** 』 【宗派】 32**臨濟宗** [1191] 総本山 : 33**建仁寺** (京都)

☆ 鎌倉後期には、南宋・元より禅僧の渡来

34**蘭溪道隆** 1249来日 → 35**北条時頼** が帰依 36**建長寺** を開く

37**無学祖元** 1279来日 → 38**北条時宗** が帰依 39**円覚寺** を開く

他に 元庵普寧 (1260来日)、一山一寧 (1299来日、夢窓疎石・虎関師練の師)

② 40**道元** … 貴族出身 荣西の孫弟子

・ ” 41**只管打坐** ” … 42**公案** よりも 43**坐禅** を重視 ・ 権力者から離れる ・ 地方武士の帰依

【主著】 『 44**正法眼蔵** 』 【宗派】 45**曹洞宗** [1227] 総本山 : 46**永平寺** (福井)

※ 弟子 懷奘の 『 正法眼蔵随聞記 』

[C] 題目系 …<sup>47</sup>天台宗から(日本で)発展

③<sup>48</sup>日蓮 …安房国の漁村出身

- <sup>49</sup>法華經の重視…<sup>50</sup>題目 (=「<sup>51</sup>南無妙法蓮華經」)を唱える→現世が仏国土に
  - 他宗排撃、辻説法 など →他宗からの迫害、幕府の弾圧
- …<例> 四箇格言「念仏無間、禅天魔、真言亡国、律国賊」

【主著】『<sup>52</sup>立正安国論』 【宗派】<sup>53</sup>法華宗 (<sup>54</sup>日蓮宗) [1253] 総本山：<sup>55</sup>久遠寺 (山梨)  
 …内乱や他国の侵略を警告 <sup>56</sup>北条時頼に提出

旧仏教の革新 ☆民衆との接点 <sup>57</sup>戒律の重視など ←新仏教による刺激・反省

- [D] <sup>58</sup>法然批判 { <sup>59</sup>貞慶 (解脱) …<sup>60</sup>法相宗再興 笠置寺(山城)  
<sup>61</sup>高弁 (明恵) …<sup>62</sup>華嚴宗再興 <sup>63</sup>高山寺(京都梅尾) 『<sup>64</sup>摧邪輪』(念仏反対論)
- [E] <sup>65</sup>律宗僧の { <sup>66</sup>俊苧 (我禅) …<sup>67</sup>泉涌寺(京都) 朱子学を伝える  
 活躍 { <sup>67</sup>叡尊 (思円) …<sup>68</sup>西大寺再興 真言宗を取り入れる(<sup>69</sup>真言律宗) 社会事業  
<sup>70</sup>忍性 (良観) …叡尊の弟子 <sup>71</sup>鎌倉極楽寺 社会事業(架橋・救民など)  
<sup>72</sup>北山十八間戸 (らい病患者救済施設：奈良)

☆鎌倉仏教の流れ(活躍時期)

	旧仏教	禅宗系	念仏系	題目系
①源平内乱期	貞慶 高弁	栄西	法然	
②承久の乱期	俊苧	道元	親鸞	
③元寇前後	叡尊 忍性	蘭溪道隆 無学祖元	一遍	日蓮

神道 …神仏習合の理論化が進む

- <sup>73</sup>本地垂迹説 (→中世3) …神に対して仏が優位 <例> 山王神道(天台宗系)、両部神道(真言宗系)  
<sup>74</sup>反本地垂迹説 (神本仏迹説) …仏に対して神を優位に ※元寇の影響  
 <例> <sup>75</sup>伊勢神道 (<sup>76</sup>度会神道) …<sup>77</sup>度会家行 (伊勢外宮の神官、『類聚神祇本源』)

正誤問題練習 <大学入試センター1995年本試験、1993年本試験>

- ①道元は宋から曹洞禅を伝え、**建仁寺**を開いた。  
 ②貞慶は、**『歎異抄』**で仏法の衰えたこの世のありさまを嘆いた。

2018日本史B(久下)授業プリント中世11 鎌倉文化(2)

3年 組 番

名称と時期 1 鎌倉文化 12世紀末～14世紀前半

特色 ① 2 公武二元的文化…公家文化と武家文化の併存(“公”の優位) 庶民にも着目  
② 3 宋・元文化の影響←貿易、僧侶の往来 ③ 4 仏教色が濃い <例> 5 無常観

建築と美術 ☆宋・元文化の導入・影響

建築 6 大仏様 (7 天竺様) <例> 8 東大寺南大門 [奈良] 浄土寺浄土堂[兵庫]

… 宋の様式 雄大・粗放・天井なし 短期間・低予算 … 浄土宗：3度入宋

※東大寺は1180年の南都焼討で焼失→勸進上人 9 重源 が各地を回る→1195年完成

10 禅宗様 (11 唐様) …<例> 12 円覚寺 13 舍利殿 [鎌倉]

… 宋の様式 精巧・繊細・急勾配の屋根 花頭窓・棧唐戸・扇垂木

14 和様 …旧来の様式 <例> 15 蓮華王院本堂(三十三間堂)[京]、16 石山寺多宝塔、秋篠寺本堂

17 折衷様(新和様) …和様に大仏様・禅宗様を混合 <例> 18 観心寺金堂[大阪]

彫刻 19 奈良仏師(20 慶派など)の活躍 ←天平彫刻の伝統、宋風彫刻の影響、焼失した南都の復興

…写実性・豊かな人間性 多数の仏像・肖像

<例> 21 興福寺 無著 ・世親 像(22 運慶)、23 東大寺僧形八幡神像(24 快慶)

25 東大寺南大門 26 金剛力士 像(27 運慶・快慶) 28 興福寺天灯鬼・竜灯鬼像(29 康弁)

30 蓮華王院本堂千手観音座像(31 湛慶) 32 六波羅蜜寺空也上人像(33 康勝)

他に東大寺大仏の修復…宋の工人 34 陳和卿 (重源に従って渡来 大仏殿再建にも参加)

35 明月院上杉重房像[鎌倉] 36 東大寺重源上人像 高德院阿弥陀如来像(鎌倉大仏)

絵画 37 似絵 …大和絵の肖像画 写実的 <例> 38 藤原隆信・39 信実 父子

伝平重盛像・伝源頼朝像… 40 後鳥羽上皇像

僧侶の肖像 41 頂相 …禅僧で祖師を描いた肖像画 師から弟子に与えるもの

その他 <例> 42 明恵上人樹上座禅図 親鸞聖人像(「鏡の御影」)

絵巻物 『43 北野天神縁起絵巻』(伝藤原信実) 『粉河寺縁起絵巻』 『山王靈驗記絵巻』

『44 春日権現験記』・『45 石山寺縁起絵巻』(共に高階隆兼)

『46 法然上人絵伝』(土佐吉光) 『47 一遍上人絵伝』(円伊)

『48 蒙古襲来絵巻』 『49 平治物語絵巻』 『50 後三年合戦絵巻』 『51 男衾三郎絵巻』

『西行物語絵巻』 『地獄草紙』 『餓鬼草紙』 『病草紙』 『天狗草紙』 など

書道 52 尊円法親王…藤原行成の世尊寺流に宋風を取り入れて 53 青蓮院流を創始 <例> 『鷹巣帖』

陶芸 54 瀬戸焼[尾張]…陶磁器 陶工加藤景正が宋の技術を伝えたという伝承

ほか 55 備前焼[岡山]、常滑焼[愛知]、信楽焼、越前焼、丹波焼、珠洲焼[石川]

武具 刀剣 56 長船長光[備前]、57 栗田口吉光 [京]、58 岡崎正宗 [鎌倉]

甲冑 明珍…京の甲冑・鐺工師の家名 鎌倉(?)から江戸時代まで続く

## 文学と学問 ☆公家主体の文化

【学問】 59 <sup>ゆうそくこじつ</sup>有職故実 …朝廷の儀式・先例の研究 〈例〉『60 <sup>きんひつ</sup>禁秘抄』(61 順徳天皇)  
古典研究 仙覚『万葉集 註 釈』<sup>ちゆうしやく</sup> 卜部兼方『釈日本紀』<sup>うらべ</sup> 源光行・親行『水源抄』(源氏)  
宋学…宋代の儒学 禅宗とともに伝わる 62 大義名分(君臣の別を正す)の重視 〈例〉63 朱子学  
64 <sup>かねさわ</sup>金沢文庫 …図書館 65 <sup>きたじょう</sup>北条(金沢)実時が称名寺(武蔵国金沢)に設立

【和歌】 『66 <sup>しんこく</sup>新古今和歌集』…67 藤原定家・藤原家隆ら編纂 八代集の最後 68 後鳥羽院の命令  
☆歌人 69 藤原定家…『70 明月記』(日記)『近代秀歌』(歌論)、父は71 藤原俊成(『千載集』編者)  
72 西行…俗名 佐藤義清 もと鳥羽院の北面の武士 諸国を遍歴 『73 山家集』  
74 源実朝 …3代将軍で右大臣 『75 <sup>きんくわい</sup>金槐和歌集』(万葉調)

【歴史】 『76 <sup>びくわん</sup>愚管抄』…77 <sup>じしん</sup>慈円(慈鎮)著(天台座主 九条兼実の弟)  
史論書 歴史の78 道理(当然の筋道)を追求[1220:承久の乱直前]  
『79 <sup>ごさいきょう</sup>吾妻鏡』…14世紀成立 幕府の歴史書[1180-1266] 日記体  
『80 <sup>げんこうしやくしよ</sup>元亨釈書』…81 <sup>こかんしれん</sup>虎関師錬(臨濟宗)著[1322] 日本初の仏教通史  
『82 水鏡』(神代~仁明 歴史物語 中山忠親) 『百鍊抄』(968~1259年 編年体の史書)

【紀行】 『83 <sup>いざよひ</sup>十六夜日記』(84 <sup>あぶつに</sup>阿仏尼) 『東関紀行』(源親行?) 『海道紀』(源光行?)  
……藤原為家(定家の子)の側室。息子の領地争い解決のため鎌倉へ

【随筆】 『85 方丈記』(86 鴨長明:13C初)・『87 徒然草』(88 兼好法師:14C前)

【軍記物】 『89 平家物語』…信濃前司行長著(?) →90 琵琶法師の語り(94 平曲)

『91 源平盛衰記』(平家の異本 「読み本」)・『92 保元物語』・『93 平治物語』

【説話集】 『94 <sup>しやせきしゆう</sup>沙石集』(95 無住)・『96 <sup>ここんちよもんしゆう</sup>古今著聞集』(97 橘成季)・『十訓抄』・『宇治拾遺物語』

## 正誤問題練習 <大学入試センター1991年本試験、1993年本試験>

- ①平家によって焼き打ちにあった興福寺の再建は、重源が責任者に任命され、朝廷や鎌倉幕府の援助によってなされた。
- ②無住は、無常の現世を鋭敏に観察した随筆『職原抄』を残した。

2018日本史B(久下)授業プリント中世12 鎌倉幕府の滅亡と建武の新政

3年 組 番 \_\_\_\_\_.

☆14世紀初めの政治情勢

[ 月 日 ]

鎌倉: 1. **北条 高時** (執権→得宗)の専制…内管領 2. <sup>たかすけ</sup>長崎高資ら御内人中心

京: 天皇家の分裂と対立  
 ……平頼綱と同族

3. **後嵯峨** — 4. **後深草** (兄) → 伏見・後伏見… 6. **持明院統** (8. **長講堂領**を相続)  
 5. **龜山** (弟) → 後宇多・後二条… 7. **大覚寺統** (9. **八条院領**を相続)

→幕府の<sup>あつせん</sup>幹旋で10. **両党迭立**の原則…交互に皇位に

→1317. 両統の妥協成立(10年で譲位するなど)…11. <sup>ぶんぼう</sup>文保の和談

☆摂関家も12. **五摂家**に分裂…13. 一条・二条・九条・近衛・<sup>たかつかさ</sup>鷹司

鎌倉幕府の滅亡と建武の新政

14. **後醍醐** <sup>天皇</sup> 1318～ 15. **大覚寺統** 16. 延喜・天曆の治(天皇親政)を理想 <例>院政の停止 17. **記録所の再興**

1324. 18. **正中** **の変**…討幕計画→失敗 日野資朝配流(のち処刑)

1331. 19. **元弘** **の変**…討幕計画→失敗 日野俊基処刑 天皇は笠置山へ→20. **隠岐配流**

21. **光厳** 1331～33 22. **持明院統**

反幕府 { 寺社 <例> 23. <sup>もりよし</sup>**護良親王** (尊雲法親王)…後醍醐の子 天台座主(延暦寺最高位)  
 勢力 { 悪党 <例> 24. **楠木正成** [河内] …赤坂城・千早城で抵抗  
 地方豪族 <例>赤松則村[播磨]、菊池武時[肥後]

25. **1333年** 後醍醐、隠岐脱出…名和長年[伯耆]、天皇を船上山に迎える

有力御家人も反旗 <例> 26. **足利高氏** [下野] → 六波羅探題を滅ぼす

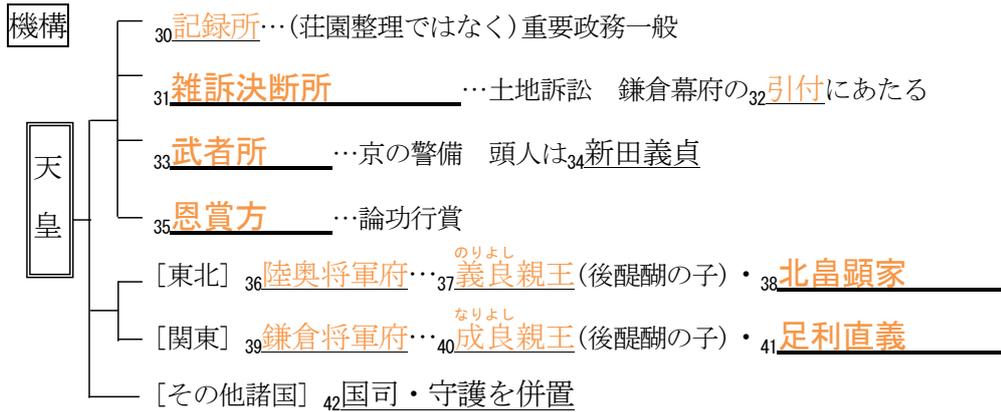
27. **新田義貞** [上野] → 鎌倉幕府を滅ぼす

28. **後醍醐** 京都へ帰還→光厳天皇廃位

正誤問題練習<センター1990本試験より>

- (1) 持明院統との紛争のなかで、大覚寺統から皇位についた後醍醐天皇は、天皇親政をすすめた。○
- (2) 建武新政府は、鎌倉幕府のあった関東を重視し、**護良親王を派遣して、鎌倉府をひらかせた。**

29 **建武新政** 開始(ただし「建武」年号は1334～) ※撰関も廃止



**特徴** 君主独裁制を目指す ←<sup>43</sup>宋の朱子学(君臣の別を強調)の影響

**問題** ①急進改革と旧習の無視…「朕が新儀は未来の先例たるべし」(後醍醐) →社会の混乱

<例> 44 **綸旨** (天皇の命令)絶対主義とその乱発、新貨幣・紙幣の発行  
所領の安堵も綸旨で(個別安堵法) →訴訟殺到 →元へ戻す(現状追認)

②武士の不満 <例>恩賞の不公平(貴族優遇)、<sup>45</sup>大内裏造営計画…費用は地頭に

③政権内部の対立 <例><sup>46</sup>**足利尊氏** ⇔ 護良親王(→鎌倉に幽閉)

1334. <sup>47</sup>**二条河原落書**…新政の混乱を描写 (『<sup>48</sup>建武年間記』) (護良親王は暗殺) ……

1335. <sup>49</sup>**中先代の乱**…高時の子<sup>50</sup>**北条時行**が信濃で挙兵、鎌倉へ→足利直義敗北、脱出  
足利尊氏、関東へ →乱を鎮圧 →新政に反旗を翻して京へ →新田義貞を破る

1336. 尊氏、京で敗北し九州へ →再び京へ向かう →<sup>51</sup>**湊川の戦い**(<sup>みなとがわ</sup>楠木正成敗死)

→京都占領。後醍醐幽閉・退位

